

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	図書館	内線等	3402
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	図書資料の整理事業		
根拠法令等	蒲都市立図書館の設置及び管理に関する条例	A 法令	Ⓔ 条例	C 規則	D その他 E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	文化
------------------	----

事務事業の内容

対象	図書館利用者に対して
手段	図書資料を整理することによって
想定する成果	必要な資料を必要なときに迅速に提供する。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
図書資料数	271,255冊	277,985冊	275,000冊
開架図書資料数	(149,281冊)	(152,838冊)	(150,000冊)
閉架図書資料数	(121,974冊)	(125,147冊)	(125,000冊)
購入+寄贈数	17,847冊	15,629冊	16,000冊

成果指標

成果指標名	開架図書資料数	閉架図書資料数
成果指標の説明	開架図書資料数	閉架図書資料数

事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			150,000冊
	実績	149,281冊	152,838冊	
成果指標	計画			125,000冊
	実績	121,974冊	125,147冊	
事業費	事業費	3,230	4,162	5,135
	人件費	16,982	17,188	18,202
	(人数)	2.0	2.0	2.0
	合計	20,212	21,350	23,337
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	20,212	21,350	23,337

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	図書資料の受入れから書架への排列まで迅速に対応しているが、排列後は利用者のマナーに追うところが大きく毎日書架が乱れている。
経済効率性	2	2	書架が毎日乱れておりこれを整理し、又毎月月末日に休館し整理をしているがこれにもかなりの人数がいるため効率性は良くない。
事務効率性	2	2	職員の手作業で整理せざるを得ず、効率性は悪い。
必要性	3	3	
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	0	0	整理業務は貸出し業務前の準備業務であり市民参加はなじまない。
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	図書資料の整理業務は、資料の収集業務及び貸出業務とともに図書館の基幹業務となっている。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

閉架書庫の整理を定期的の実施するようにした。

今後改善すべき点

現在一年おきに開架・閉架の順にばく書を実施しているが、毎年全書架のばく書を実施していきたい。そうしないと実態とコンピュータとのずれが大きく利用者に迷惑がかかる。
--

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

人手不足のため毎年ばく書ができないでいる、人員増をはかり実施していきたい。

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	図書館	内線等	3402
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	図書資料の貸出・返却等利用運営事業		
根拠法令等	蒲都市立図書館の設置及び管理に関する条例	A 法令	⑤ 条例	C 規則	D その他 E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	文化
------------------	----

事務事業の内容

対象	図書資料の利用者に対して
手段	図書資料の貸出・返却等することによって
想定する成果	利用者が必要なときにいつでも活用でき、学習の権利を保障する。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
図書資料貸出冊数	359,490冊	379,787冊	380,000冊
登録者数	27,473人	29,227人	31,000人

成果指標

成果指標名	登録者一人当たりの貸出冊数	人口一人当たりの貸出冊数
成果指標の説明	年間貸出冊数 / 登録者数	年間貸出冊数 / 人口

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			13.1冊
	実績	13.1冊	13.0冊	
成果指標	計画			4.7冊
	実績	4.4冊	4.6冊	
事業費	事業費	22,798	23,533	25,365
	人件費	21,228	21,486	20,933
	(人数)	2.5	2.5	2.3
	合計	44,026	45,019	46,298
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	44,026	45,019	46,298

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	開館時間の延長等で貸出冊数も増加している。
経済効率性	2	2	市民一人当たりの貸出冊数も全国平均を上回っており効率性も良い。
事務効率性	2	2	貸出・返却カウンターも必要最小限の人員で行なっている。
必要性	3	3	図書館本来の業務で必要不可欠な業務である。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	リクエスト等利用者の要望も取り入れ行なっている。
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	市民の図書館として、必要最小限の人員で効率よく事業を推進している。
------	---	---	-----------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

<p>利用者の利便性を考慮し開館時間の延長を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成11年度以前開館時間10時～17時 ・平成12年度開館時間10時～18時 ・平成13年度開館時間10時～18時（7月～9月は19時） ・平成14年度開館時間10時～19時
--

今後改善すべき点

<p>利用者の利便を考え、レファレンス業務の設置を図る。</p>

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

<p>多様な利用者の要望に応えるため、司書の増員を図りレファレンス業務の実施をしていきたい</p>

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	図書館	内線等	3402
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	図書館分室等及び保育園巡回の館外奉仕事業				
根拠法令等	蒲都市立図書館の設置及び管理に関する条例	A 法令	Ⓔ 条例	C 規則	D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	文化
------------------	----

事務事業の内容

対象	図書館分室等の利用者及び、保育園の団体利用者に対し
手段	図書資料を配本、巡回貸出することにより
想定する成果	図書資料の利用の促進を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
分室等箇所数	分室7 保育園19 児童館5	分室7 保育園19 児童館6	分室7 保育園19 児童館6
配本・巡回回数	92回	92回	92回
分室等貸出冊数	75,339冊	78,350冊	80,000冊

成果指標

成果指標名	分室等貸出冊数
成果指標の説明	分室等貸出冊数

事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			80,000冊
	実績	75,339冊	78,350冊	
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	228	480	715
	人件費	4,246	4,297	4,550
	(人数)	0.5	0.5	0.5
	合計	4,474	4,777	5,265
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,474	4,777	5,265

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	利用者は、地域の住民や保育園児であり大いに利用されている。
経済効率性	2	2	各地域の分室等への配本や保育園への団体貸出により、図書の利用率も向上している。
事務効率性	2	2	公用車1台で配本。巡回しているが効率性は良い。
必要性	3	3	地域住民の読書サービスや保育園児の心の成長のために重要な業務となっている。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	3	3	毎年貸出し増で利用率が向上している。
合計	13 / 15 満点中	13 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	現在の事業の進め方で十分効果があがっている。
------	---	---	------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

児童館の巡回文庫の増加

今後改善すべき点

分室の改良により蔵書数の増加を図る。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	図書館	内線等	3402
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	図書館ホームページ作成事業				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	D その他	⑤なし

総合計画での位置付け
基本目標

豊かな心と創造性を育むまちづくり	施策名 文化
------------------	-----------

事務事業の内容

対象	図書館利用者に対して
手段	インターネット検索ができるようにホームページを作成することによって
想定する成果	利用者の利便性を図る

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
利用者件数		10,948件	20,000件
インターネット検索システム賃借料		1,044千円	2,203千円

成果指標

成果指標名	利用者件数
成果指標の説明	利用者件数

事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			20,000件
	実績		10,948件	
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費		1,044	2,203
	人件費		1,720	1,820
	(人数)		0.2	0.2
	合計		2,764	4,023
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源		2,764	4,023

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	利用者の多くは市民と思われるが、県内・県外からのアクセスも多い。
経済効率性	2	2	前年より相互貸借の利用が多くなっている。
事務効率性	2	2	必要最小限で最大の効果をあげており効率性は良い。
必要性	3	3	自宅からのアクセスが可能になり、利用者からの反響も大きい
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	利用者からの意見を取り入れホームページの内容を改良している。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	利用者の意見を取り入れ、なお一層内容の充実を図っていく。
------	---	---	------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

内容の改良を図った。平成14年7月インターネット検索開始した。

今後改善すべき点

図書資料のインターネット予約について検討したい。

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	図書館	内線等	3402
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	図書館展示会開催事業		
根拠法令等	蒲都市立図書館の設置及び管理に関する条例	A 法令	Ⓔ 条例	C 規則	D その他 E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	文化
------------------	----

事務事業の内容

対象	図書館の利用者及び市民に
手段	図書館の資料の展示を通じて
想定する成果	教育と文化の向上を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
展示会開催回数	13回	14回	14回
延べ開催日数	206日	213日	215日
主な展示内容	教科書展示、絵手紙展、色紙短冊展等	教科書展示、絵手紙展、色紙短冊展等	教科書展示、絵手紙展、色紙短冊展等

成果指標

成果指標名	展示会開催回数	展示会開催日数
成果指標の説明	展示会開催回数	展示会開催日数

事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			14回
	実績	13回	14回	
成果指標	計画			215日
	実績	206日	213日	
事業費	事業費	511	461	459
	人件費	4,246	4,297	4,550
	(人数)	0.5	0.5	0.5
	合計	4,757	4,758	5,009
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,757	4,758	5,009

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	2	2	展示会は主に展示室で行なっているが、毎月実施している
経済効率性	2	2	余り経費をかけずに実施しているので効率性は良い
事務効率性	2	2	図書館業務の一部として、図書館業務の本来の業務と並行して実施しているため効率性は良い。
必要性	2	2	市民の文化向上のためには必要性のある事業である。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	展示には市民団体のものも多く、多くの市民に鑑賞してもらっている。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	多くの市民に活用されているが、毎年同様の企画のものが多いように思われる。
------	---	---	--------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

今後改善すべき点

新しい展示会の企画を検討していくこと。

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載